

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	フレスタ東雲店 新築工事	階数	地上2F
建設地	広島市南区東雲一丁目959番他8筆	構造	S造
用途地域	都市計画区域内(市街化区域)	平均居住人員	20 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,100 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2019年2月10日
敷地面積	4,127 m ²	作成者	村田友弘
建築面積	2,718 m ²	確認日	2019年2月10日
延床面積	2,887 m ²	確認者	奥田寛



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 82%
③上記+②以外の 82%
④上記+ 82%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.0

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.1	スコア = 2.8	スコア = 3.1
設計の計画に特段に配慮した事項 /// / 節水型洋風便器・小便器の採用 / 高効率熱源機器の採用により省エネ化を図りCO ₂ の削減	設計の計画に特段に配慮した事項 / 駐車場の確保	設計の計画に特段に配慮した事項 給排水配管の2種類耐用年数C以上の採用 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される